

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧表

令和7年5月1日

北都保健福祉専門学校 作業療法学科

科目名	学年	単位数	担当する教員の実務経験	教員氏名
作業療法概論Ⅰ	1	1	作業療法士として5年以上の実務経験	鈴木渉
作業療法概論Ⅱ	1	1	作業療法士として5年以上の実務経験	西口嘉和
基礎作業学実習Ⅰ	1	1	作業療法士として5年以上の実務経験	西口嘉和 鈴木渉 石井綾子 川上和敏
保健医療福祉制度論	2	1	作業療法士として5年以上の実務経験	西館潤
基礎作業学	2	1	作業療法士として5年以上の実務経験	鈴木渉
評価実習Ⅱ	2	1	作業療法士として5年以上の実務経験	三浦太一
義肢装具学実習	2	1	作業療法士として5年以上の実務経験	西口嘉和
日常生活活動実習Ⅰ	2	1	作業療法士として5年以上の実務経験	石井綾子
身体障害実習Ⅰ	2	1	作業療法士として5年以上の実務経験	石井綾子 西館潤
精神障害実習Ⅰ	2	1	作業療法士として5年以上の実務経験	三浦太一
地域作業療法学実習	2	1	作業療法士として5年以上の実務経験	川上和敏
身体障害実習Ⅱ	3	1	作業療法士として5年以上の実務経験	川上和敏
高次神経障害	3	1	作業療法士として5年以上の実務経験	西口嘉和
作業療法研究法	3	1	作業療法士として5年以上の実務経験	鈴木渉
作業療法管理学	4	1	作業療法士として5年以上の実務経験	川上和敏
	計	15		

科目名	作業療法概論Ⅰ		
担当教員	鈴木 渉		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
1	前	1	15
履修目的・授業概要			
作業療法の基礎となる哲学・概念・歴史を知り、かつ専門職としての資質と適性について学ぶ。さらに作業療法の実践過程における評価方法や利点・問題点の抽出方法を通し、対象者”その人”を理解し、有効なアプローチを構築するための技術と知識について講義する。			
到達目標			
問題解決型学習法（PBL）により自ら調べ、まとめ、発表するプロセスを通して学習方法を学び、作業療法の全体像を把握する			
授業の形式・方法			
講義、演習			
成績評価の方法・基準			
筆記試験20％，発表30％，レポート50％，出席率			
学生へのメッセージ			
本講義は、これまでの知識伝授型教育と異なり、学ぶプロセスを学ぶ学習法であり、この授業を通して、学生が能動的に勉強する方法を取得することを目的としている。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 作業療法学概論 第3版	長崎重信	メディカルビュー	¥4,200

コマ	履修内容	教員
1	作業とは何か？	鈴木
2	作業とは何か？	鈴木
3	作業とは何か？	鈴木
4	作業とは何か？	鈴木
5	作業とは何か？	鈴木
6	作業とは何か？	鈴木
7	作業とは何か？	鈴木
8	作業とは何か？	鈴木
9	作業とは何か？	鈴木
10	作業とは何か？	鈴木
11	グループ発表	鈴木
12	発達障害領域における作業療法を理解する	鈴木
13	発達障害領域における作業療法を理解する	鈴木
14	発達障害領域における作業療法を理解する	鈴木
15	総合試験	鈴木

科目名	作業療法概論Ⅱ		
担当教員	西口 嘉和		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
1	後	1	15
履修目的・授業概要			
「作業療法概論Ⅰ」で学んだ知識をもとに、身体・精神・地域（老健・訪問）の各分野における作業療法の業務を理解し、“生活障害”に対する基本的アプローチを考察する。臨床見学実習前に習得しておくべき基本的かつ重要な知識を講義する。			
到達目標			
作業療法各領域における、作業療法の概略および過程を理解する。			
授業の形式・方法			
教科書および担当教員作成のプリントを用いながら講義形式で行う。理解確認のためのレポート課題あり。			
成績評価の方法・基準			
小テスト20%、本試80%。出席状況と課題で増減。			
学生へのメッセージ			
講義内容を記憶するだけでなく、理解することが重要。そのための積極的な学習態度を求む。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
作業療法学概論第3版	(監) 長崎重信	MEDICAL VIEW	4400

コマ	履修内容	教員
1	オリエンテーション 。前期「作業療法概論Ⅰ」で学んだことを再確認する。	西口
2	身体機能分野作業療法① ：「身体障害」の種類	西口
3	身体機能分野作業療法② ：作業療法の介入範囲	西口
4	身体機能分野作業療法③ ：評価と治療のポイント	西口
5	身体機能分野作業療法④ ：治療理論	西口
6	精神機能分野作業療法① ：「精神障害」の定義	西口
7	精神機能分野作業療法② ：精神科医療の現状	西口
8	精神機能分野作業療法③ ：「精神保健」とは	西口
9	精神機能分野作業療法④ ：精神科作業療法の対象	西口
10	精神機能分野作業療法⑤ ：精神科作業療法の実施過程と方法	西口
11	地域作業療法① ：地域作業療法の意味	西口
12	地域作業療法② ：「地域」における作業療法の業務	西口
13	地域作業療法③ ：介護老人保健施設における作業療法	西口
14	地域作業療法④ ：認知症の作業療法	西口
15	本試験	西口

科目名	基礎作業学実習Ⅰ		
担当教員	西口 嘉和 鈴木 渉 石井 綾子		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
1	通	1	23
作業療法では、治療手段の一つとして様々な“作業活動”を用いる。本講義では「作業活動の治療的応用」について学んだ後、様々な実習を通じ、工程・手順の分析、運動構成要素、感覚-知覚-認知統合要素、心理社会的要素などを分析・考察する。			
到達目標 作業活動に用いる基本的な知識・技術を習得する。また、作品を作る楽しさ、使う楽しさを知る。			
授業の形式・方法 講義および実習。レポート提出とフィードバック。			
成績評価の方法・基準 レポート。出席状況による増減。			
学生へのメッセージ 作品を作る楽しさ、使う楽しさを共に感じよう。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1	畑作業	石井
2	畑作業	石井
3	畑作業	石井
4	畑作業	石井
5	畑作業	石井
6	畑作業	石井
7	調理実習	石井
8	作業の治療的応用①：作業療法における特徴	西口
9	作業の治療的応用②：作業療法における目的	西口
10	作業の治療的応用③：作業選択に必要な要因	西口
11	作業の治療的応用④：各領域における活用法	西口
12	作業の治療的応用⑤：芸術療法	西口
13	ネット手芸	石井
14	ネット手芸	石井
15	ネット手芸	石井

コマ	履修内容	教員
16	革細工	石井
17	革細工	石井
18	ロールピクチャー	鈴木
19	ロールピクチャー	鈴木
20	ロールピクチャー	鈴木
21	ロールピクチャー	鈴木
22	ロールピクチャー	鈴木
23	ロールピクチャー	鈴木
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	保健医療福祉制度論		
担当教員	西館 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	15
履修目的・授業概要			
作業療法士として働く上で必要な診療報酬，介護保険，福祉制度などについて学ぶ。			
到達目標			
診療報酬，介護保険，福祉制度などについて説明できる。			
授業の形式・方法			
講義			
成績評価の方法・基準			
グループワーク形式での小テスト 筆記試験，レポート評価			
学生へのメッセージ			
医療は医療分野にとどまらず、福祉・介護、保健、生活衛生分野等と密接に関わっています。これらの法制度と関連施策を理解することで、皆さんが将来活躍する場、仕事を社会的な観点から理解して下さい。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格

コマ	履修内容	教員
1	死因統計	西館
2	健康	西館
3	社会保険の仕組み、医療費の支払い	西館
4	感染症、インフルエンザ、結核	西館
5	医療事故、チーム医療	西館
6	診療情報、診療報酬	西館
7	食中毒	西館
8	栄養、健康食品	西館
9	アルコール依存症、精神保健福祉	西館
10	PT・OT法	西館
11	障害福祉	西館
12	身体障害手帳の判定、心疾患	西館
13	身体障害手帳の判定、肢体不自由①	西館
14	身体障害手帳の判定、肢体不自由②	西館
15	試験	西館

科目名	基礎作業学		
担当教員	鈴木 渉		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	15
履修目的・授業概要			
本講義では、作業を治療的手段として、あるいは生活を構成するという意味で使用することを学ぶ。			
到達目標			
1. 作業の概念を理解する			
2. 作業療法の歴史を理解する			
3. 作業の理論を知るである			
授業の形式・方法			
講義と演習			
成績評価の方法・基準			
筆記試験100%から遅刻・欠席回数を減じるものとする。			
学生へのメッセージ			
講義で分からないことがあれば必ず確認してください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
基礎作業学	小林夏子編集	医学書院	¥3,990
国際生活機能分類	世界保健機構	中央法規	¥3,500
生活機能分類の活用に向けて		厚生統計協会	¥800
作業で語る事例報告	齋藤佑樹	医学書院	¥3,500

コマ	履修内容	教員
1	作業療法の歴史	鈴木
2	作業の主観的意味	鈴木
3	作業の文脈	鈴木
4	作業機能障害	鈴木
5	医療のなかの作業療法	鈴木
6	トップダウン，ボトムアップ	鈴木
7	人間作業モデル	鈴木
8	作業遂行との結び付きカナダモデル	鈴木
9	国際生活機能分類	鈴木
10	国際生活機能分類	鈴木
11	感覚統合理論	鈴木
12	生活行為向上マネジメント	鈴木
13	多職種連携のマネジメント	鈴木
14	多職種連携における作業療法	鈴木
15	試験	鈴木

科目名	評価実習 II		
担当教員	三浦 太一		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	23
履修目的・授業概要			
徒手筋力検査(以下MMT)の方法と手技について理解する。骨格筋の機能を理解する。			
到達目標			
MMTの方法と手技を理解する。 対象へのオリエンテーションや各種配慮を含め実施できるようになる			
授業の形式・方法			
実習形式 動きやすい恰好(ジャージ等)で臨んで下さい。			
成績評価の方法・基準			
中間・最終試験実施 筆記50%・実技50%			
学生へのメッセージ			
MMTについては今後実習にて必要になる基本的な手技です。 また、実施にあたり基本的な解剖学的知識は必須となります。十分な準備をして臨んでください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
新・徒手筋力検査法 第10版	Helen J.Hislop	協同医書出版	

コマ	履修内容	教員
1	オリエンテーション・講義① MMTの概要について理解する	三浦
2	オリエンテーション・講義② MMTの概要について理解する	三浦
3	頸筋の検査①	三浦
4	頸筋の検査②	三浦
5	頸筋の検査③	三浦
6	体幹の検査①	三浦
7	体幹の検査②	三浦
8	体幹の検査③	三浦
9	肩甲帯の検査①	三浦
10	肩甲帯の検査②	三浦
11	肩甲帯の検査③	三浦
12	中間試験 筆記試験・実技試験(1～11の内容)	三浦
13	上肢の検査①	三浦
14	上肢の検査②	三浦
15	上肢の検査③	三浦

コマ	履修内容	教員
16	上肢の検査④	三浦
17	上肢の検査⑤	三浦
18	下肢の検査①	三浦
19	下肢の検査②	三浦
20	下肢の検査③	三浦
21	下肢の検査④	三浦
22	下肢の検査⑤	三浦
23	試験 筆記試験・実技試験(全範囲)	三浦
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	義肢・装具学実習		
担当教員	西口 嘉和		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	1	23
履修目的・授業概要			
手の外科＝ Hand Therapyの治療原則の理解と作業療法の役割、および手の基本的機能と障害について学ぶ。スプリントの基礎知識を講義後、実際に作製する。			
到達目標			
1：手の外科の治療原則を理解する			
2：「手」（手関節以遠）の機能解剖について理解する			
3：スプリントの概要について理解する			
4：代表的なスプリントの製作方法を取得する			
授業の形式・方法			
前半：担当教員作成のプリントを用いながらの講義。 後半：スプリント作製。章ごとにレポート課題。			
成績評価の方法・基準			
小テスト20%、本試80%。出席状況と課題で増減。			
学生へのメッセージ			
一年次に履修した解剖学および運動学を十分復習しておくこと。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
基本スプリントの作りかた	山口淳（監）	医歯薬出版	2200

コマ	履修内容	教員
1	オリエンテーション：スライドによる症例紹介	西口
2	手の外科の治療原則①：手の外科の歴史とリハチームの役割	西口
3	手の外科の治療原則②：手の外科に必要な設備	西口
4	手の外科の治療原則③：治療を阻害する原因	西口
5	手関節の機能解剖①：手関節を構成する関節	西口
6	手関節の機能解剖②：手関節の運動と筋活動	西口
7	手関節の機能解剖③：手関節の解剖学的特質	西口
8	手指の機能解剖①：手指の構成	西口
9	手指の機能解剖②：手指の関節と筋	西口
10	手指の機能解剖③：手指の機能	西口
11	スプリントの概要①：スプリントの定義と種類	西口
12	スプリントの概要②：スプリントの適応と目的	西口
13	スプリントの概要③：作製時の留意点	西口
14	スプリント作製①：対立スプリント	西口
15	スプリント作製②：対立スプリント	西口

コマ	履修内容	教員
16	スプリント作製③：対立スプリント	西口
17	スプリント作製④：カックアップスプリント	西口
18	スプリント作製⑤：カックアップスプリント	西口
19	スプリント作製⑥：カックアップスプリント	西口
20	スプリント作製⑦：リングスプリント	西口
21	スプリント作製⑧：アウトリガースプリント	西口
22	スプリント作製⑨：アウトリガースプリント	西口
23	本試験	西口
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	日常生活活動実習Ⅰ		
担当教員	石井綾子		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	1	23
履修目的・授業概要			
人が生活するとはどういうことか？人の動作に係関するとはどういうことか？基本動作を中心に他者の動作能力を如何にして引き出すことができるのか、その介入の実際について学ぶ			
到達目標			
安全性に配慮しながら、相手の体格や能力や状況に応じた介助や関わりが出来るようになる。また、それに応じた誘導技術について理解を深める。			
授業の形式・方法			
実技とレポート形式			
成績評価の方法・基準			
実技試験（6割）筆記試験（4割）とし、出席状況にて増減			
学生へのメッセージ			
基本的な動作や診る視点を学ぶ中で、想像力を豊かにしましょう！実技が基本なので、動ける服装で出席してください。また、動画を撮ることや画像をみてもらうことがあるので携帯を持参してください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
ADLとその周辺	伊藤利之・鎌倉短子	医学書院	6,000
片麻痺能力回復と自立達成の技術	生田宗博	三輪書店	5,460
脳卒中リハビリガイド 第2版	田口芳雄	学研	3,400

コマ	履修内容	教員
1	ADLには何がある？細項目化	石井
2	相手の姿勢の特徴を知ろう 背臥位・座位・立位	石井
3	相手の姿勢の特徴を知ろう 寝返り・起き上がり	石井
4	片麻痺患者のへの介入の仕方 寝返り・起き上がり	石井
5	片麻痺患者のへの介入の仕方 ベッド⇄車いす	石井
6	片麻痺患者のへの介入の仕方 食事①	石井
7	片麻痺患者のへの介入の仕方 食事②	石井
8	片麻痺患者のへの介入の仕方 更衣①（上衣）	石井
9	片麻痺患者のへの介入の仕方 更衣②（下衣）	石井
10	片麻痺患者のへの介入の仕方 更衣③（靴下・靴）	石井
11	片麻痺患者のへの介入の仕方 トイレ	石井
12	片麻痺患者のへの介入の仕方 入浴	石井
13	片麻痺患者のへの介入の仕方 清拭・整容（手洗い）	石井
14	片麻痺患者のへの介入の仕方 ベッド⇄トイレ・入浴	石井
15	片麻痺患者のへの介入の仕方 ベッド⇄トイレ・入浴	石井

コマ	履修内容	教員
16	脊髄損傷患者のへの介入の仕方 寝返り・起き上がり	石井
17	脊髄損傷患者のへの介入の仕方 ベッド⇄車いす	石井
18	脊髄損傷患者のへの介入の仕方 更衣①（上衣）	石井
19	脊髄損傷患者のへの介入の仕方 更衣②（下衣）	石井
20	下方ヘリーチ不可の患者のへの介入の仕方 更衣①（下衣・靴下・靴）	石井
21	その他 三角巾の着脱の仕方 点滴などリスク管理が伴う移乗 （ベッド⇄車いす）	石井
22	歩行補助具を使用しての歩行・階段昇降	石井
23	実技試験・筆記試験	石井
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	身体障害実習Ⅰ		
担当教員	石井 綾子 西館 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	通	1	23
履修目的・授業概要			
「身体障害Ⅰ」で学んだ身体障害系の知識をさらに臨床で活用できる知識，技術へと発展させる．特に整形外科，内科系疾患の領域に対する作業療法を学ぶ．			
到達目標			
疾患・障害の特徴に応じた評価方法を選択・実施ができる． 評価結果，目標設定，治療・援助方法が論理的な妥当性をもって結びついていること リスクを管理し，治療原理に基づいた作業療法が実践ができる．			
授業の形式・方法			
講義および実習形式			
成績評価の方法・基準			
試験及び講義への出席状況にて判定			
学生へのメッセージ			
実習内容については動きやすい恰好で臨んでください．解剖学や生理学など基本的な知識は必須の内容となります．事前に十分に学習して臨んでください．			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
身体障害領域の作業療法	大嶋伸雄	中央法規	
標準作業療法学 身体機能作業療法学	岩崎弘子（編）	医学書院	
フィジカルアセスメント ガイドブック	山内豊明	医学書院	

コマ	履修内容	教員
1	オリエンテーション，身体障害OTの総論	石井
2	身障OT治療原理（関節機能障害の評価）	石井
3	身障OT治療原理（関節機能障害の評価）	石井
4	身障OT治療原理（関節可動域訓練）	石井
5	身障OT治療原理（筋力増強訓練）	石井
6	身障OT治療原理（感覚知覚訓練）	石井
7	リスク管理（OTとリスク管理）	石井
8	痛みに対するOT	石井
9	廃用症候群に対するOT	石井
10	呼吸器疾患に対するOT	石井
11	心疾患，終末期に対するOT	石井
12	オリエンテーション 評価・治療導入場面の演習など	西館
13	呼吸 呼吸評価・聴診・打診・スクイー징ング	西館
14	上肢の評価 主に片麻痺の代表例から上肢の評価・治療	西館
15	治療的作業選択① 疾患や症状に合わせて作業を選択する．	西館

コマ	履修内容	教員
16	治療的作業選択② 疾患や症状に合わせて作業を選択する。	西舘
17	基本動作の評価・治療例 基本動作の治療例について	西舘
18	関節拘縮 関節可動域訓練について	西舘
19	歩行 歩行介助・治療介入例	西舘
20	バランス バランスの評価例・BBS	西舘
21	環境面への介入例 環境調整・アフォーダンス	西舘
22	まとめ	西舘
23	試験	石井 西舘
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	精神障害実習Ⅰ		
担当教員	三浦 太一		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	1	23
履修目的・授業概要			
精神障害者に対する歴史的処遇について映像教材を中心に学び、精神障害者への理解と共感的態度を身につける。また、ひとの捉え方や対象者理解や援助について学ぶ。			
到達目標			
1.精神障害者の歴史的背景について述べる事が出来る。			
2.精神障害者に対する作業療法の意義・目的を説明できる。			
3.精神科作業療法の流れを説明できる			
授業の形式・方法			
講義・演習			
成績評価の方法・基準			
レポート評価（80％），参加態度（20％）			
学生へのメッセージ			
精神疾患、精神疾患患者、精神障害者への理解と共感的態度を身につけてもらいたい。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
精神障害と作業療法	山根 寛	三輪書店	4,000

コマ	履修内容	教員
1	精神科作業療法の歴史	三浦
2	〃	三浦
3	映画「パッチ・アダムス」鑑賞	三浦
4	〃	三浦
5	映画「カッコーの巣の上で」鑑賞	三浦
6	〃	三浦
7	映画「ビューティフル・マインド」鑑賞	三浦
8	〃	三浦
9	映画「人生、ここにあり」鑑賞	三浦
10	〃	三浦
11	疾患別作業療法の展開 統合失調症について①	三浦
12	疾患別作業療法の展開 統合失調症について②	三浦
13	疾患別作業療法の展開 統合失調症について③	三浦
14	疾患別作業療法の展開 気分障害について①	三浦
15	疾患別作業療法の展開 気分障害について②	三浦

コマ	履修内容	教員
16	疾患別作業療法の展開 アルコール依存症について①	三浦
17	疾患別作業療法の展開 アルコール依存症について②	三浦
18	疾患別作業療法の展開 パーソナリティ障害について①	三浦
19	疾患別作業療法の展開 パーソナリティ障害について②	三浦
20	疾患別作業療法の展開 摂食障害について①	三浦
21	疾患別作業療法の展開 摂食障害について②	三浦
22	関連疾患について①	三浦
23	関連疾患について②	三浦
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	地域作業療法学実習		
担当教員	川上 和敏		
	実務経験	有	
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	通	1	23
履修目的・授業概要			
障害者や高齢者が住み慣れた環境で生き活きと生活を送るためのOT支援法やその周辺知識について学ぶ。地域包括ケアシステム、介護予防、生活不活発病、MTDLP（生活行為向上マネジメント）について理解を深める。			
到達目標			
地域社会を理解し、他職種との協業や連携を図りながら、生活支援や予防事業を推進する知識・技術・態度を身に付けること。この授業では地域住民に対する「健康体操教室」を担当し、学生が目的や効果を思案して企画、実践を行う。			
授業の形式・方法			
講義、演習、施設実習			
成績評価の方法・基準			
出席状況とレポート課題提出、発表会内容			
学生へのメッセージ			
学内講義、演習以外にフィールドワークとして、旭川市百寿大学との交流会や地域高齢者に対する介護予防体操を実践します。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格

コマ	履修内容	教員
1	高齢者の生活と福祉 ・授業オリエンテーション ・現在社会の理解と地域作業療法	川上
2	生活不活発病 ・平均寿命と健康寿命 ・フレイルとサルコペニア	川上
3	生活不活発病に関連する疾患 ・認知症 ・内部障害	川上
4	生活不活発病の予防法 ・地域作業療法 ・リハビリテーション支援事業の取り組み	川上
5	学外実習オリエンテーション ・百寿交流会 ・地域健康体操	川上
6	学内演習（介護予防プログラム） ・健康体操の意義・企画	川上
7	学内演習（介護予防プログラム） ・マルチタスク課題の意義・企画	川上
8	学内演習（介護予防プログラム） ・地域健康体操の企画	川上
9	学内演習（介護予防プログラム） ・地域健康体操の企画	川上
10	学外実習（1回目）シニア大学交流会 ・世代間交流 ・レクリエーション	川上
11	学外実習（1回目）シニア大学交流会 ・世代間交流 ・レクリエーション	川上
12	百寿大学プレ実習 ・地域健康体操の企画	川上
13	学外実習（2回目）神楽百寿大学交流会 ・地域健康体操 ・マルチタスク	川上
14	学外実習（2回目）神楽百寿大学交流会 ・地域健康体操 ・マルチタスク	川上
15	学内演習（介護予防プログラム） ・学外実習（2回目）の振り返り	川上

コマ	履修内容	教員
16	百寿大学プレ実習 ・地域健康体操の企画	川上
17	学外実習（3回目）緑が丘百寿大学交流会 ・地域健康体操 ・マルチタスク	川上
18	学外実習（3回目）緑が丘百寿大学交流会 ・地域健康体操 ・マルチタスク	川上
19	学内演習（介護予防プログラム） ・学外実習（3回目）の振り返り	川上
20	学外実習（4回目）神楽市民大学交流会 ・地域健康体操 ・マルチタスク	川上
21	学外実習（4回目）神楽市民大学交流会 ・地域健康体操 ・マルチタスク	川上
22	発表会（介護予防プログラムまとめ）	川上
23	発表会（介護予防プログラムまとめ）	川上
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	身体障害実習Ⅱ		
担当教員	川上 和敏 小橋 泰文		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
3	前	1	23
履修目的・授業概要			
脳血管疾患（片麻痺，高次脳機能障害）への介入を中心に評価・治療の考え方や実践方法，作業・環境・自己の治療の応用について学ぶ。			
到達目標			
脳血管疾患を中心に身体障害領域の作業療法実践における評価から治療計画を立案し，その根拠やリスク管理まで説明することができるようになること，各種テストバッテリーについては，その実施手順，方法，結果解釈までを理解し実施できるようになること。			
授業の形式・方法			
講義，実技			
成績評価の方法・基準			
実技受講態度（50％），筆記テスト（50％）			
学生へのメッセージ			
評価臨床実習や総合臨床実習をイメージし，その準備に繋げること。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
標準OT学作業療法評価学第3版		医学書院	

コマ	履修内容	教員
1	授業オリエンテーション ・脳血管疾患の特徴 ・予後予測に基づく治療計画	川上
2	脳血管疾患について ・脳血管栄養領域，機能局在 ・高次脳機能障害の評価と治療	川上
3	脳血管疾患について ・片麻痺の診方と治療介入 ・姿勢・動作分析	川上
4	バランス機能の診方 ・支持基底面と重心線 ・CA, CW, CMについて	川上
5	動作分析 ・寝返り ・起き上がり	川上
6	動作分析 ・立ち上がり ・歩行	川上
7	動作分析 ・上肢機能 ・利き手機能	川上
8	検査技法 1 ・FBS, FR, TUG	川上
9	検査技法 2 ・STEF, MFT, パデュペグ	川上
10	検査技法 3 ・kohns, ベントン, レーブン	川上
11	検査技法 4 ・WAIS-R	川上
12	検査技法 4 ・WAIS-R	川上
13	検査技法 5 ・RBMI, CAT・CAS, BADS, BIT	川上
14	検査技法 5 ・RBMI, CAT・CAS, BADS, BIT	川上
15	高次脳機能訓練 ・促通法，行動変容法，環境整備など	川上

コマ	履修内容	教員
16	上肢機能訓練 ・ 体表解剖	川上 小橋
17	上肢機能訓練 ・ 体表解剖	川上 小橋
18	上肢機能訓練 ・ 促通法	川上
19	上肢機能訓練 ・ 環境整備, 自助具適応	川上
20	上肢機能訓練 ・ 片手動作・利き手交換訓練	川上
21	コミュニケーション装置の適合支援 ・ コミュニケーション障害 ・ コミュニケーションデバイスの活用	川上
22	コミュニケーション装置の適合支援 ・ コミュニケーション支援の事例紹介 ・ 他職種連携	川上
23	試験	川上
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	高次神経障害		
担当教員	西口 嘉和		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
3	前	1	15
履修目的・授業概要			
高次脳機能の基礎知識および作業遂行上の問題を学び、作業療法における評価の意義や代表的な検査、アプローチ方法などを学ぶ。			
到達目標			
1：高次脳機能障害の特徴を知る			
2：医学的知識と心理学的知識を結びつけられる			
3：高次脳機能障害が、実際の生活の中でどのように影響するかを予測できる			
4：具体的かつ役立つプログラムを立案できる			
授業の形式・方法			
教科書および担当教員作成のプリントを用いながら、主として講義形式で行う。			
成績評価の方法・基準			
小テスト20%、本試80%。出席状況と課題で増減			
学生へのメッセージ			
脳科学を学ぶためには、学術本だけでなく、一般書籍やTV番組などにも目を通しておくの良い。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
高次脳機能作業療法学第3版	鈴木孝治（編）	メジカル・ビュー	4400

コマ	履修内容	教員
1	オリエンテーション。総論と脳の局在①：分類法と特徴	西口
2	総論と脳の局在②：「感覚統合脳」の概念	西口
3	総論と脳の局在③：脳の血流と画像	西口
4	高次脳機能障害とは①：定義	西口
5	高次脳機能障害とは②：診断基準と病態	西口
6	高次脳機能障害とは③：注意障害・記憶障害	西口
7	高次脳機能障害とは④：失語・失行・失認	西口
8	高次脳機能障害とは⑤：遂行機能障害・社会的行動障害・劣位半球症状	西口
9	高次脳機能障害の評価①	西口
10	高次脳機能障害の評価②	西口
11	神経心理学的検査①	西口
12	神経心理学的検査②	西口
13	高次脳機能障害への作業療法介入①	西口
14	高次脳機能障害への作業療法介入②	西口
15	本試験	西口

科目名	作業療法研究法		
担当教員	鈴木 渉		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	前	1	15
履修目的・授業概要			
研究法の基礎について学ぶ。特に量的研究を中心とし論文の分析，データ分析，研究計画書の書き方から論文作成までのプロセスを学ぶ。			
到達目標			
一連の研究プロセスを学び，論文を読む能力および分析能力を身に着ける。			
授業の形式・方法			
講義と演習			
成績評価の方法・基準			
研究計画書発表100％から欠席・遅刻回数を減じる。			
学生へのメッセージ			
各自の卒論テーマを踏まえた講義，グループワークを行う。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
作業療法研究法	山田孝	医学書院	¥3,990
国語教育研究ハンドブック	竹内理	松柏社	¥3,500
心理統計	小宮あすか	講談社	¥2,800
作業で創るエビデンス	友利幸之助	医学書院	¥4,000

コマ	履修内容	教員
1	研究疑問の作り方	鈴木
2	論文の読み方	鈴木
3	研究疑問の構造化	鈴木
4	信頼性と妥当性	鈴木
5	バイアス	鈴木
6	研究デザイン	鈴木
7	研究のタイプ	鈴木
8	統計の基礎知識	鈴木
9	記述統計	鈴木
10	推測統計	鈴木
11	推測統計	鈴木
12	質的研究法	鈴木
13	質的研究法	鈴木
14	質的研究法	鈴木
15	質的研究法	鈴木

科目名	作業療法管理学		
担当教員	川上 和敏		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	通	1	8
履修目的・授業概要			
作業療法士の業務は、臨床・教育・研究など多岐にわたる。勤務している施設だけでなく協会、士会、連盟や各学会など様々な場で活躍が求められ、現代社会からも多様なニーズとサービスが求められている。質の高い作業療法を提供するための管理・運営能力を学ぶ			
到達目標			
質の高い作業療法を提供するための個人並びに組織における管理運営を理解し携わることができる。			
授業の形式・方法			
講義とグループワーク			
成績評価の方法・基準			
筆記試験			
学生へのメッセージ			
管理学は管理業務を任される役職者だけに必要な学問ではない。学生や作業療法士が自身をマネジメントすること、ある目的や課題を達成するための準備や体制づくりにも共通します。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

[illegible]